

～ひとに心 まちに風～
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



はむらの 教育

第38回 羽村市文化祭

～明日への飛躍、文化の集い～



展示1期 10/17～10/21	ホール 10/27・10/28 (音楽部門)
2期 10/24～10/28	11/3・11/4 (芸能部門)
3期 10/31～11/4	11/24・11/25 (舞踊部門)



10月17日から羽村市生涯学習センターゆとろぎで羽村市文化祭が開催されます。今年度は65団体が参加し、作品の展示と音楽等のホール発表を行う予定です。みなさまのご来場をお待ちしております。

図書館のシステムが変わります

図書館の電算システムは6年以上同じシステムを使用してきました。今年度、電算システムの入替えを行います。利用者の方からいただいているご意見を出来るだけ取り入れたシステムの構築を目指しています。また、機器類も新しいものとなるため、処理能力も上がり利用者の方にご不便をかけることも大幅に少なくなります。

ココが変わります

主な変更点は……



① 検索がより早く

今までの検索の方法を見直したシステムで、より早く検索が行えます。利用者端末やホームページでの検索も早くなります。また、窓口での資料のお問い合わせもスムーズに行え、お待たせする時間が短くなります。

② 検索が正確に

従来の単語ごとの検索から、現在のインターネットなどで行われている全文テキスト検索に変更することにより、検索がより正確になり、検索結果の絞込みも対応できるようになります。ご希望の資料を探す時間も短くなります。

③ ホームページの内容が充実

システムの変更に伴い、コンテンツの追加が可能になります。お子さんのオススメ本リストなどを掲載していきます。図書館からより多くの情報を発信していきます。

電算システム入替えおよび蔵書点検に伴う

臨時休館のお知らせ

図書館電算システムの機器入替え、データ移行および蔵書点検のため、下記の期間を臨時休館とさせていただきます。全ての機器を入れ替えるとともに、各データを正確に新システムに移行し、同時に蔵書点検を実施するためのものです。どうぞご了承ください。

臨時休館期間

平成19年11月5日（月）～11月19日（月）

ご注意ください。

「図書館に対する私の意見・提案について」

羽村市図書館では皆さんにとって身近で利用しやすい図書館となりますよう、皆さんから図書館についてのご意見・ご提案をいただきました。ここに主なものをご紹介します。

今後事業運営に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

意見・提案	図書館からの回答等
<p>所蔵していない本のリクエストも端末から予約できるようにしてほしい。著者の検索を漢字でできるようにしてほしい。</p>	<p>未所蔵の資料については、予約をいただいた全ての資料を提供できない場合もあるため、利用者端末機からの予約は行っていません。また、漢字での検索については、11月稼動の新システムからは可能となります。</p>
<p>「白い巨塔」のビデオ、東日本・西日本・津軽の民謡のCDを是非置いてほしい。</p>	<p>資料選定の際に検討させていただきます。</p>
<p>年末は30日までは開館すべき。</p>	<p>他の施設と統一的な運営を図っておりますのでご理解をいただきたいと存じます。</p>
<p>岩波文庫だけでなく、ほかの文庫もひとつにまとめてほしい。</p>	<p>旧館では文庫ごとに配架していましたが、著者別に配架してほしいとの要望が多数あり、現在の方法にしております。</p>
<p>日焼けで背表紙のタイトルが見えにくい本がいくつかある。分類の597あたりの本が乱雑である。</p>	<p>タイトルが見えにくい本については至急補修等を行いました。また、乱雑な部分は毎朝の書架整理を行うとともに除架を行っております。</p>
<p>閲覧席Aでパソコンのクリック音がうるさい。</p>	<p>閲覧席Aはパソコンも使用できる席となっておりますが、閲覧席利用の案内チラシを配布し、利用される方に協力を求めています。</p>
<p>DVDやビデオの英語版を増やしてほしい。</p>	<p>資料選定の際に検討させていただきます。</p>
<p>図書館の照明は明るすぎるのでは、公共の場だからこそしっかり節約してください。</p>	<p>不必要な場所はこまめに消すよう今後も節約に努めます。</p>
<p>ゆとりぎで催物がある時は駐車場が満杯で探すのが大変である。</p>	<p>ゆとりぎで大きな事業がある時は、整理員や警備員を配備するようにはしておりますが、さらに案内の徹底を図っていきます。</p>
<p>図書館とゆとりぎの駐車場を分けてほしい。</p>	<p>立体駐車場等については効率的な運営を図るため、ゆとりぎ・図書館・産業福祉センターとの共有で使用していただくようにしておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。</p>
<p>CDの貸出方法を福生市で行っている方法（書架にはケースのみ配架しており、貸出時に初めて中身の資料を手にする仕組み）に変更しては。</p>	<p>旧館では福生市と同様な貸出方法でしたが、盗難防止装置の導入・所蔵数の増加により現在の方法を取らせていただいております。</p>
<p>地下閲覧席での電卓使用の禁止を。</p>	<p>閲覧席利用の案内チラシで周知するとともに、定期的に巡回し啓発に努めます。</p>

「ゆとりぎ」探訪⑤

声をかけてください

「ゆとりぎ総合案内窓口」

最近、1階に出没しています。小さなテーブルと、ゆとりぎのご案内と、笑顔のカウンター。

ゆとりぎの催しに関する事、施設利用に関すること、ご意見などをおかけしている、「ゆとりぎ総合案内窓口」です。

「旧公民館の頃よりも敷居が高い感じがする、事務室に声をかけにくい、などのご意見が発端です。事務室から出て、おいでになった方が声をかけやすいように工夫してみました。」

と、「ゆとりぎ協働事業運営市民の会」事務局長の村山さんは、窓口設



総合案内窓口に座る村山事務局長



ご提案箱。ゆとりぎに対するご意見などを入れてください。

置のきつかけを話します。

「ゆとりぎのキーワードは『交流』だと思っています。皆さんとお話しして、ゆとりぎを知っていただき、少しでも親近感を増していただけるといいですね。利用された皆さんのご意見をうかがう『ご提案箱』も用意しているんですよ。」

この『案内窓口』は、施設予約等の受付窓口の正面付近、1階大ホールのロビーが見渡せるあたりにあります。ゆとりぎで実施や予定されている催しについて、ゆとりぎで活動しているサークル等について、施設についてなどの案内をしています。常設ではありませんが、効果的な時間を狙って開設しています。

『案内窓口』には、村山事務局長だけでなく、ゆとりぎ館長や、職員

も座ります。ゆとりぎ全体で、利用者の皆さんとの交流を図ろうとしています。

『案内窓口』を見かけたら、日頃感じているちよつとした疑問や意見など、何でも気軽に声をかけてみてください。

「案内窓口」愛称募集

『案内窓口』ではちよつと堅苦しいので、気軽に呼べる愛称を募集します。利用者ゆとりぎの交流のポイントとしてふさわしいニックネームを、ぜひお寄せください。市民の会で審査し、採用された方には、ゆとりぎでのクリスマス公演「森は生きている」(児童劇の名作です)のペアチケットをプレゼントします。

応募方法 はがきに、提案するニックネームと、応募者の氏名、住所、電話番号、年齢を明記の上、12月1日必着で、ゆとりぎまでお送りください。

送付先 〒205-10003

羽村市緑ヶ丘1-11-5
羽村市生涯学習センター
ゆとりぎ事業係

羽村市生涯学習まちづくり人材バンク 「はむら人ネット」登録者募集

生涯学習のさまざまな分野で、学ばず意欲のある市民に、必要な知識・技術を提供するための人材バンク事業、それが「はむら人ネット」。教育委員会では、「はむら人ネット」に登録してくださる方を募集しています。生涯学習活動に理解と情熱をお持ちの方、ぜひ生涯学習課にご連絡ください。

登録種類は2種類、登録できる方は、次の項目を満たす方です。

★指導者

① 各種の生涯学習活動について、特技・技術・知識などがあり、市民に指導ができる。

② 生涯学習活動に深い理解・熱意があり、責任を持って取り組むことができる。

★協力者

① 人のために役立ちたいと考えて労力を提供できる。

② 生涯学習活動に深い理解・熱意があり、責任を持って参加できる。

※指導者・協力者とも、その身分を利用した政治活動・宗教活動及び営利活動は行えません。

詳しいことは、生涯学習課までおたずねください。

「市内の文化財（羽村市指定文化財 2）」

前回は、羽村市指定有形文化財に指定されている文化財のうち、建造物と彫刻について紹介しました。今回は、古文書と考古資料を紹介します。

指定されている古文書は、「指田家文書」と「中根家文書」で、いずれも「地方文書（じかたもんじょ）」といわれる資料です。

「指田家文書」は、玉川上水の水番人を勤めた指田家に伝わった226点の資料で、玉川上水の管理や修復関係の文書のほか、JR中央線の前身である甲武鉄道や同じくJR青梅線の前身である青梅鉄道に関する文書が大半を占めています。「中根家文書」は、旧川崎村中根家に伝わった江戸時代から昭和時代までの1,892点の資料です。旧川崎村は、複雑な支配形態でしたが、その名主の一つが中根家で、年貢関係や戸籍関係の資料は、羽村市の歴史を研究する上で大変貴重な資料です。また、明治期の自由民権運動に関わる島田研一郎が著した「宇喜草酒花（うきくさのはな）」も「中根家文書」として指定されています。

考古資料は、羽東の山根坂上遺跡から出土した「釣手土器」3点が指定されています。山根坂上遺跡は、縄文時代中期（今から約4,500年前）に人々が生活していた場所です。釣手土器は上から紐などで吊って、灯明のように使った土器と考えられています。縄文時代中期に特徴的な土器ですが、一つの遺跡から複数が出土することは稀で、都内の遺跡でも発見されている例は多くありません。



「中根家文書」



「釣手土器」3点

次回は、民俗文化財を紹介します。

※縄文時代の年代観（今から〇〇年前など）は、弥生時代のそれとともに、科学技術の発達と研究資料の増加によって、これまでの見解とは違うものが発表されていますが、詳細な検討や議論が加えられている最中のため、ここでは従前の年代観を示しています。

「幼稚園・保育園・小学校の連携について検討しています。」

～羽村市幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会～

羽村市では、平成18年8月に市内の幼稚園、保育園及び小学校並びに保護者が連携、協力し、幼児の生活、発達及び学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図るとともに、小学校教育への円滑な移行を図ることを目的として、羽村市幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会を設置しました。

懇談会は、栄小学校の水野校長を会長に、幼稚園、保育園、小学校の代表者・保護者と教育委員会及び市職員で構成されており、また、本年度からは、具体的な検討を行うため、教諭・保育士による部会を設置しました。

これまでに、3回の会議を行い、それぞれの共通理解を図る

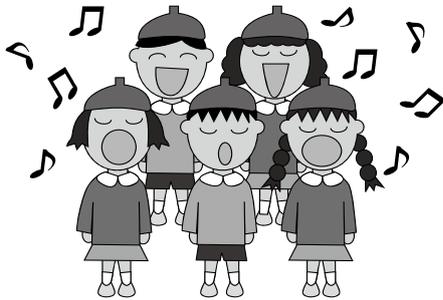
とともに、現状把握と課題抽出のための意見交換や各施設の訪問研修等を行ってきました。

会議や訪問研修の中では、幼児・児童を取り巻く現状や各施設での問題点などについて、活発な意見交換が行われております。

なお、会議の内容については、市のホームページに掲載しております。

今後は具体的な取組について検討していくこととなります。

●問合せ 指導室・子ども家庭部 保育課



教育委員会定例会報告

今年度の教育委員会定例会（第4回～8回）について以下のとおり行われ、提出された議案については次のとおり議決されました。

第4回教育委員会定例会

（平成19年4月24日）

議案

○羽村市教育委員会教育目標の改正について

○羽村市体育指導委員の委嘱について

※このほか、校長会などの報告がありました。

第5回教育委員会定例会

（平成19年5月15日）

議案

○平成19年度羽村市特別支援教育就学指導委員会委員の委嘱について

※このほか、校長会などの報告がありました。

第6回教育委員会定例会

（平成19年6月19日）

議案

○羽村市生涯学習センターゆとろぎ管理運営条例施行規則の一部を改正する規則について

○学校評議員の委嘱について

※このほか、羽村市小・中学校一貫教育校の検討状況と今後の取り組み、校長会などの報告がありました。

第7回教育委員会定例会

（平成19年7月17日）

※国体東京都準備委員会、校長会などの報告がありました。提出議案はありませんでした。

第8回教育委員会定例会

（平成19年8月21日）

議案

○羽村市公立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

○平成20年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について

※このほか、羽村市図書館新電算システム導入計画などの報告がありました。

●問合せ 教育総務課

羽村市総合型地域スポーツクラブプレ事業

「健康運動シンポジウム」

運動を通じた健康づくりの実践・成果を公表し、市民の意識を高め、今後の健康・増進活動を啓発するためのシンポジウムを開催します。健康と運動に興味のある多くのみなさまの参加をお待ちしております。

日時 平成19年11月18日(日)
午後1時30分から5時00分まで
会場 羽村市コミュニティセンターホール(3階)
参加費 無料
定員 180名
●基調講演 13:40～14:40
「健康づくりと運動」―羽村市スポーツセンターでの実践―
○国士舘大学教授
講師 渡辺 剛先生
●リラックス体操(10分間)
●シンポジウム 15:10～16:50
テーマ「健康づくりと運動」―

◆コーディネーター
○NHKきょうの健康
講師 古田裕子先生

◆シンポジスト
○国士舘大学教授
渡辺 剛先生

○山野美容芸術短期大学教授
医学博士 生山 匡先生

○帝京大学医療技術学部准教授
管理栄養士 殖田友子先生

●申込み ファックス・メール
で11月4日までにお申し込みください。
Fax 042-554-9974
メール s75005@city.hamuratakyo.jp

●主催 羽村市地域スポーツクラブ設立実行委員会
羽村市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会

●問合せ 羽村市教育委員会教育体育課(羽村市スポーツセンター内)
電話 042-555-0033

小・中学校の行事予定 10月～12月

詳しくは、各学校にお問合せください。

- 羽村東小学校
10月20日(土)
東小地域フェスティバル
11月22日(木)～23日(金)
展覧会・学校公開
- 羽村西小学校
11月3日(土)学芸会
11月28日(水)
羽村西小学校50周年記念集会
12月1日(土)
羽村西小学校50周年記念式典
12月14日(金)・17日(月)・18日(火)
50周年記念特別授業公開
- 富士見小学校
11月22日(木)～23日(金)図工展
- 栄小学校
10月6日(土)農業体験活動「稲刈り」
11月3日(土)学習発表会
12月10日(月)～14日(金)学校公開
12月13日(木)
道徳授業地区公開講座
12月15日(土)持久走大会
- 松林小学校
10月16日(火)
道徳授業地区公開講座
10月30日(火)セーフティ教室

- 11月23日(金)作品展・学校公開
- 小作台小学校
9月29日(土)学校公開
10月25日(木)
学校公開・セーフティ教室
11月22日(木)～23日(金)
学習発表会
11月23日(金)
小作台小学校30周年記念式典
- 武蔵野小学校
10月10日(水)セーフティ教室
11月3日(土)学習発表会
- 羽村第一中学校
10月26日(金)合唱コンクール
11月12日(月)～16日(金)
職場体験学習
11月19日(月)
羽村第一中学校60周年記念式典
- 羽村第二中学校
10月22日(月)～27日(土)
公開授業週間
10月27日(土)
道徳授業地区公開講座
11月12日(月)
新入学予定児童保護者説明会
11月26日(月)～30日(金)

- 公開授業週間
12月17日(月)～21日(金)
公開授業週間
- 羽村第三中学校
10月11日(木)
E組多摩地区障害児教育研究会主催
マラソン大会
11月3日(土)
学校公開・道徳授業地区公開講座
11月5日(月)～9日(金)
職場体験学習

★12月7日(金)～11日(火)
合同作品展※ゆとろぎ
東小・栄小・松小・武小・三中(特別支援学級・通級指導学級)
★12月8日(土)
地域交流会※ゆとろぎ
栄小・武小・三中(特別支援学級)

中学生スポーツの活躍

全国大会・関東大会 出場

羽村第一中学校

陸上部

須田将兵さん（3年）が第46回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会で優勝し、第34回全日本中学陸上競技大会（宮城県8月20日～23日）に出場しました。また、第35回関東中学校陸上競技大会（茨城県8月8日～9日）出場し第4位に入賞しました。

羽村第二中学校

水泳部

近藤海斗さん（2年）が第59回東京都中学校選手権水泳競技大会で入賞し、第31回関東中学校水泳競技大会（茨城県8月9日～11日）に出場しました。

羽村第三中学校

卓球部

野中千尋さんが第60回東京都中学校卓球選手権大会で入賞し、第35回関東中学校卓球大会（山梨県8月8日～10日）に出場しました。

小中学校へのAED設置

学校諸活動における方が一の事態に備えて、市内の全小中学校に、AED（自動体外式除細動器）を設置いたしました。また、AEDの操作については学校教職員を対象に講習会を実施しております。

今後も教育委員会では、児童生徒の安全確保に努めてまいります。

●問合せ 教育総務課

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ Tel.570-0707
 図書館 Tel.554-2280
 郷土博物館 Tel.558-2561
 スポーツセンター Tel.555-0033
 スイミングセンター Tel.579-3210
 弓道場 Tel.555-9255

羽村東小学校 Tel.554-5663
 羽村西小学校 Tel.554-2034
 富士見小学校 Tel.554-6449
 栄小学校 Tel.554-2024
 松林小学校 Tel.554-7800

小作台小学校 Tel.554-1431
 武蔵野小学校 Tel.555-6904
 羽村第一中学校 Tel.554-2012
 羽村第二中学校 Tel.554-2041
 羽村第三中学校 Tel.555-5131

教育随想

「大風呂敷」？のすすめ

「大風呂敷」とは、ホラ吹きのことです。歴史にその名を残した人の中で、その業績を分析してみると、凡なる宰相には及びもつかぬ巨大な人物がいます。それは、将来を展望した壮大なビジョンの持ち主なるがゆえに、近視眼で私利私欲に染まった世間には理解されなかつた。「大風呂敷」は、その愛すべき悪名にこそ、彼がいかにその時代を超えた存在であつたかを示す証でもあります。

多くの人は「時代」に制約されます。「限界」もあります。そして、人はアナログでファジーな生物だとする説もあります。デジタルな世界よりもほっとするものです。「携帯電話」よりも「糸電話」に温もりを感じる所以であります。

古来、大人は子どもに言ってきました。「よく食って、よく寝て、よく遊べ、暇があつたら勉強しろ」と。今に通じる言葉であります。羽村の自然豊かな環境の中で、群れをなして遊ぶ子どもたちが時には「大風呂敷」を広げて、夢を語る「時間と体験」をして欲しい。そう思います。

教育長 角野征大

